

やすらぎだより

12
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第162号

「 竣工式 」

施設長 植田 誠



平成25年3月8日に地鎮祭を執り行って以来5年8ヶ月が経過したが、ようやく竣工式を迎えることができる。関係者大勢の方々のご協力をいただき、法人西側駐車場整備事業は区切りの完了が訪れる。

竣工式を執行する12月3日は、法人創立記念の日だ。昭和50年のその日、社会福祉法人やすらぎ会が事業運営を開始して以来43回目の同日は、朝のおつとめに始まり記念式典や食事会等、43回脈々と変わることなく繰り返されてきた法人の歴史そのものと言えよう。そういう日を旅立ちに、新たな環境と新たな場面が得られたことの意義は深い。

整備したのは約1500㎡。半分は駐車場で半分はテラス付きの公園、特筆したいのは公園だ。楕円形の中央に約380㎡にわたって人工芝を敷き詰めた。天然芝と比較すれば当然割高だが、その代わりメンテナンスが少なく'奈良の北海道'と言われる寒冷地のここ福住にはより適合すると判断する。

用途の可能性は広がるばかり。ご利用者のご家族の憩いの場、地域交流の場は勿論、グランドゴルフやゲートボール等のスポーツ活用、はたまた職員さん混じえたバーベキューは胃を満たし、大の字になりながら満天の星空を眺めるのはロマンチックに浸され心を満たす。

勝手なもくろみは次々と広がるが、それもまた竣工式を控える今だからこその楽しみだ。プランを立案したプロジェクトスタッフの見識に、改めて敬意を払う。

そもそも、竣工式とは建築物等の完成を祝う儀式である。そして「竣」の字は物事を終えると意味する。現段階は、あくまで工事が終わったということだ。大切なのはこれからどう活かすか、どのように意味あるものとするか。

一つの祝事から悟るべきもの、それは過ぎし日、現在、そしてこれからの姿であろう。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業